

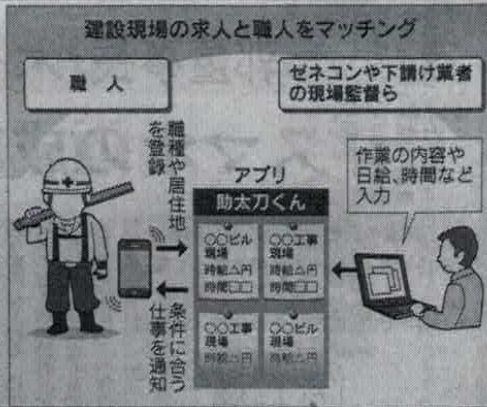
ゼネコンと職人つなぐ

東京ロケットスマホに求人アプリ

インターネット関連サービスベンチャーの東京ロケット（東京・渋谷、我妻陽一社長）は建設現場の求人と職人をマッチングするスマートフォン（スマホ）向けアプリを開発する。ゼネコンや下請け会社が仕事内容や給与、場所などを求職情報を入力。職人が事前登録していた希望条件に近い仕事があると、職人のスマホに通知される。

仕事の受発注、簡単に

9月末に新サービス「助太刀くん」を始める。iPhone（アイフォン）などで仕事の受発注が簡単にでき、現場の人手不足の緩和につなげる。まずパソコン向けサイトで提供する職種と居住地を登録する。今年中に米アップル



る。入力する情報を少なくすることで、スマホの士が技能を評価し合う制アプリに不慣れな人でも

高い職人ほど、高い報酬や待遇の良し仕事を紹介できるようにする。

ゼネコンやその下請け業者など仕事を発注する企業は細かい条件で募集内容を人力で書き、職務内容や給与、勤務時間、現場で働く人数に加え、マイカー通勤の可否や外国人労働者の受け入れが可能かなどを指定する。サービス利用料は求人募集している企業が支払

る。料金は最初の5回まで無料とし、それを超えると月額数千円とする。仕事の受発注だけでなく、現場の勤怠管理にも使える。業務開始時にスマホやアプリを操作しておけばタイムカードのように勤務時間を把握でき、勤怠データをもとに請求書発行を代行するサービスも検討している。

建設業界の職人の手配は仲間からの紹介や電話での依頼が中心だ。「元大手の電気工事会社で現場監督として働いた後、自身も電気工事会社を1年間経営してきた。このほどベンチャーキャピタル（VC）のジェネシアベンチャー（東京・池）とKLabベンチャーパートナーズ（同）を引受先とする第三者割当増資を実施。約5000万円の資金を調達し、建設現場や職人のニーズを理解している強みを生かし、サービスの拡充を急ぐ。（請盛聡）

（請盛聡）